

岡山医療センターでは、下記の臨床研究に対して「●対象となる患者さん」に該当する方へ研究へのご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

#### [研究課題名]

当科における新生児期の卵巣嚢腫に対する治療方針・成績についての検討

#### [研究責任者]

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター  
小児外科 医師 向井 巨

#### [研究の背景]

胎児超音波検査の進歩に伴い、卵巣嚢腫は比較的遭遇する機会の多い疾患である。なかでも 30mm を超えるものは捻転のリスクがあり、卵巣の温存を目的として出生後早期の手術等による介入が検討される。このような症例に対して我々は、出生後の可及的早期に穿刺吸引を行う事が手術と比較して低侵襲な治療と考え実践している。

#### [研究の目的]

これまで当科で経験した新生児卵巣嚢腫の入院・外来症例の検討を行い、さらにその結果を学会等で発表を行い、他院との比較や意見を収集して当科での治療成績の現在地を把握し、将来的により安全で低侵襲な治療を確立するための根拠とするものである。

#### [研究の方法]

##### ●対象となる患者さん

総排泄腔遺残症の患者さんで、西暦 2005 年 1 月 1 日から西暦 2023 年 12 月 31 日の間に、当院で新生児期発見の卵巣嚢腫と診断され、治療（検査）・通院治療をされた方

##### ●研究期間

倫理審査承認後、実施許可後から西暦 2024 年 12 月 31 日まで

##### ●利用する検体、カルテ情報

###### ・検体

当該研究での利用しない

###### ・カルテ情報：

胎児診断の有無、胎児診断時の在胎週数、出生時の在胎週数、出生体重、小児外科医の初診時日齢、嚢胞径、治療方針と穿刺の有無、穿刺排液量、嚢胞性状についての超音波検査像、卵巣嚢腫捻転の有無など

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、研究費は用いず実施されます。しかしこの研究における当院の研究者の利益相反<sup>\*</sup>については、当院の研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。

<sup>\*</sup>外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1

小児外科 医師 向井 亘

電話 086-294-9911 FAX 086-294-9255